

# CS+ V3.00.00

統合開発環境

ユーザーズマニュアル RL78 端子配置編

対象デバイス

RL78 ファミリ

本資料に記載の全ての情報は発行時点のものであり、ルネサス エレクトロニクスは、予告なしに、本資料に記載した製品または仕様を変更することがあります。ルネサス エレクトロニクスのホームページなどにより公開される最新情報をご確認ください。





# 目次

1.	概 説	6
1.1	概 要	6
1.2	特 長	6
2.	機 能	7
2.1	概 要	7
2.2	端子配置表 パネルのオープン	8
2.2.1	表示項目の選択	9
2.2.2	表示順序の変更	10
2.2.3	列の追加	11
2.2.4	列の削除	11
2.3	端子配置図 パネルのオープン	12
2.3.1	マイクロコントローラの形状選択	13
2.3.2	表示色の選択	14
2.3.3	ポップアップ情報の選択	15
2.3.4	付加情報の選択	16
2.4	情報の記述	17
2.5	レポート・ファイルの出力	18
2.5.1	端子配置表の出力	18
2.5.2	端子配置図の出力	19
A.	ウインドウ・リファレンス	20
A.1	概 要	20
	メイン・ウインドウ	21
	プロジェクト・ツリー パネル	24
	プロパティ パネル	25
	[端子配置の設定] タブ	27
	[端子配置表の情報] タブ	28
	[端子配置図の設定] タブ	29
	端子配置表 パネル	31
	[端子番号] タブ	33
	[マクロ] タブ	35
	[外部周辺] タブ	37
	端子配置図 パネル	39
	出力 パネル	41
	列の選択 ダイアログ	43
	新しい列 ダイアログ	45
	名前を付けて保存 ダイアログ	46



## 1. 概 説

CS+ は、アプリケーション・システムを開発する際の統合開発環境であり、設計／コーディング／ビルド／デバッグなどといった一連の作業を実施することができます。

本書では、端子配置の機能について説明します。

### 1.1 概 要

端子配置は、CS+ が提供しているコンポーネントの 1 種であり、GUI ベースで各種情報を設定することにより、マイクログローラの端子配置状況（端子配置表、端子配置図）を出力することができます。

### 1.2 特 長

以下に、端子配置の特徴を示します。

(1) レポート機能

端子配置を用いて設定した情報を各種形式のファイルで出力し、設計資料として利用することができます。

## 2. 機能

本章では、端子配置が提供している主な機能を実操作手順とともに説明します。

備考 本章では、対象デバイスが“RL78/G13 (ROM : 16KB) R5F1006A (20pin)” の場合を例にとり、主な機能の説明を行っています。

### 2.1 概要

端子配置は、マイクロコントローラの端子配置状況を入力することにより、端子配置表、端子配置図といったレポート・ファイルを出力させることができます。

なお、端子配置の操作手順は、以下のとおりです。

- (1) CS+ の起動  
Windows の [スタート] メニューから CS+ を起動します。
- (2) プロジェクトの作成／読み込み  
プロジェクトの新規作成（プロジェクトの種類、使用するマイクロコントローラ、使用するビルド・ツールなどの定義）、または既存のプロジェクトの読み込みを行います。
- (3) [端子配置表 パネルのオープン](#)  
マイクロコントローラの各端子に関する情報を記述するための[端子配置表 パネル](#)をオープンします。
  - (a) [表示項目の選択](#)  
端子配置表に表示する項目を選択します。
  - (b) [表示順序の変更](#)  
端子配置表に表示する項目の順序を変更します。
  - (c) [列の追加](#)  
端子配置表に対する列の追加を行います。
  - (d) [列の削除](#)  
端子配置表に対する列の削除を行います。
- (4) [端子配置図 パネルのオープン](#)  
端子に関する情報の記述状況を確認するための[端子配置図 パネル](#)をオープンします。
  - (a) [マイクロコントローラの形状選択](#)  
[端子配置図 パネル](#)に表示するマイクロコントローラの形状を選択します。
  - (b) [表示色の選択](#)  
[端子配置図 パネル](#)の各端子（電源端子、特殊端子、使用端子など）に関する情報の記述状況を確認するための表示色を選択します。
  - (c) [ポップアップ情報の選択](#)  
[端子配置図 パネル](#)の各端子上にマウス・カーソルを移動した際、ポップアップ表示させる情報の種類を選択します。
  - (d) [付加情報の選択](#)  
[端子配置図 パネル](#)の端子部分に表示させる情報の種類を選択します。
- (5) [情報の記述情報の記述](#)  
[端子配置表 パネル](#)でマイクロコントローラの各端子に関する情報を記述します。
- (6) [レポート・ファイルの出力](#)  
レポート・ファイル（端子配置を用いて設定した情報を保持したファイル：端子配置表、端子配置図）を指定されたフォルダに出力します。
  - (a) [端子配置表の出力](#)  
端子配置表を出力します。
  - (b) [端子配置図の出力](#)  
端子配置図を出力します。
- (7) プロジェクトの保存  
プロジェクトの保存を行います。

## 2.2 端子配置表 パネルのオープン

マイクロコントローラの各端子に関する情報を記述するための端子配置表パネルをオープンします。

なお、端子配置表パネルのオープンは、プロジェクト・ツリーパネルの [Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] → [端子配置表] をダブルクリックすることにより行います。

図 2.1 端子配置表 パネルのオープン



- 備考 1. 端子配置が未対応のマイクロコントローラがプロジェクトで定義された場合、プロジェクト・ツリーパネルの [Project name (プロジェクト)] に“ [端子配置 (設計ツール)] ノード” は表示されません。
- 備考 2. 端子配置表パネルは3個のタブから構成され、タブを選択することにより、“マイクロコントローラの各端子に関する情報”の表示順序が切り替わります。
- [端子番号] タブ  
マイクロコントローラの各端子に関する情報を端子番号順で表示
  - [マクロ] タブ  
マイクロコントローラの各端子に関する情報を周辺機能単位にグルーピングされた順序で表示
  - [外部周辺] タブ  
外部周辺に接続された端子に関する情報を外部周辺部品単位にグルーピングされた順序で表示



## 2.2.1 表示項目の選択



端子配置では、端子配置表の左上に設けられた  ボタンで端子配置表の表示項目を選択することができます。  
 なお、表示項目の選択は、端子配置表の左上に設けられた  ボタンをクリックすることによりオープンする [列の選択ダイアログ](#)で行います。

図 2.2 表示項目の選択



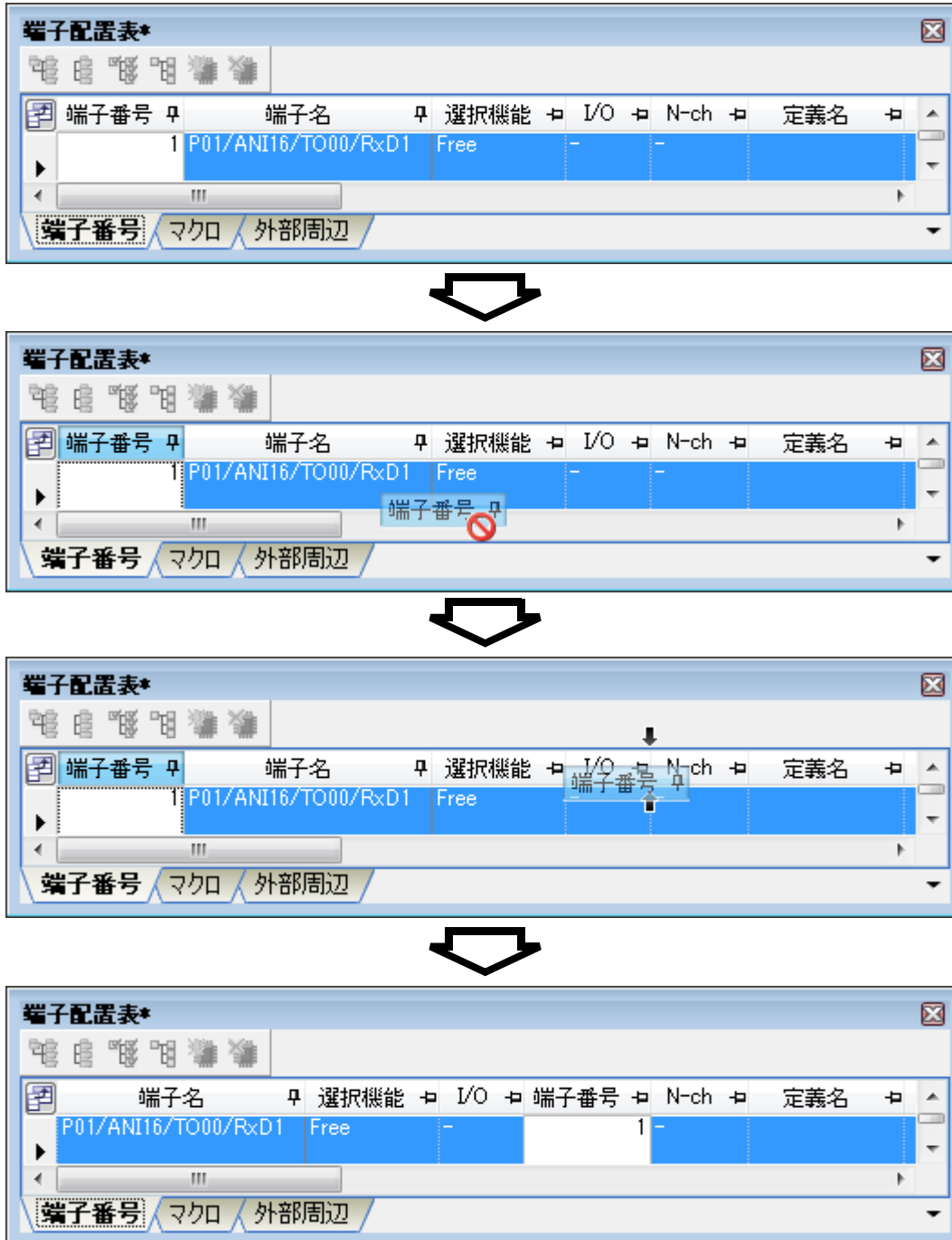
備考 表示項目の選択は、該当チェック・ボックスをクリックすることにより行います。


チェック状態	該当項目を端子配置表に表示します。
非チェック状態	該当項目を端子配置表から非表示とします。

## 2.2.2 表示順序の変更


端子配置では、端子配置表の列をドラッグしたのち、移動先にドロップすることにより、表示項目の表示順序を変更（列を移動）することができます。

図 2.3 表示順序の変更



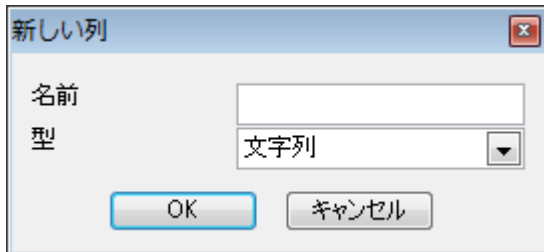
**備考** 表示順序の変更は、端子配置表の左上に設けられた  ボタンをクリックすることによりオープンする列の選択ダイアログの表示項目選択エリアに表示されている項目をドラッグしたのち、端子配置表の移動先にドロップすることでも、表示項目の表示順序を変更することができます。

### 2.2.3 列の追加

端子配置では、端子配置表の左上に設けられた  ボタンをクリックすることによりオープンする **列の選択 ダイアログ** の [新しい列 ...] ボタンで“ユーザ独自の列”を端子配置表に追加することができます。


なお、列の追加は、**列の選択 ダイアログ** の [新しい列 ...] ボタンをクリックすることによりオープンする **新しい列 ダイアログ** で行います。

図 2.4 列の追加



**備考** 端子配置表“ [マクロ] タブ, [外部周辺] タブの第 1 階層 ”については、列の追加が制限されています。

### 2.2.4 列の削除

端子配置では、端子配置表の左上に設けられた  ボタンをクリックすることによりオープンする **列の選択 ダイアログ** の [列の削除] ボタンで“ユーザ独自の列”を端子配置表から削除することができます。

なお、列の削除は、**列の選択 ダイアログ** の表示項目選択エリアで削除対象列を選択したのち、[列の削除] ボタンをクリックすることにより行います。

図 2.5 列の削除



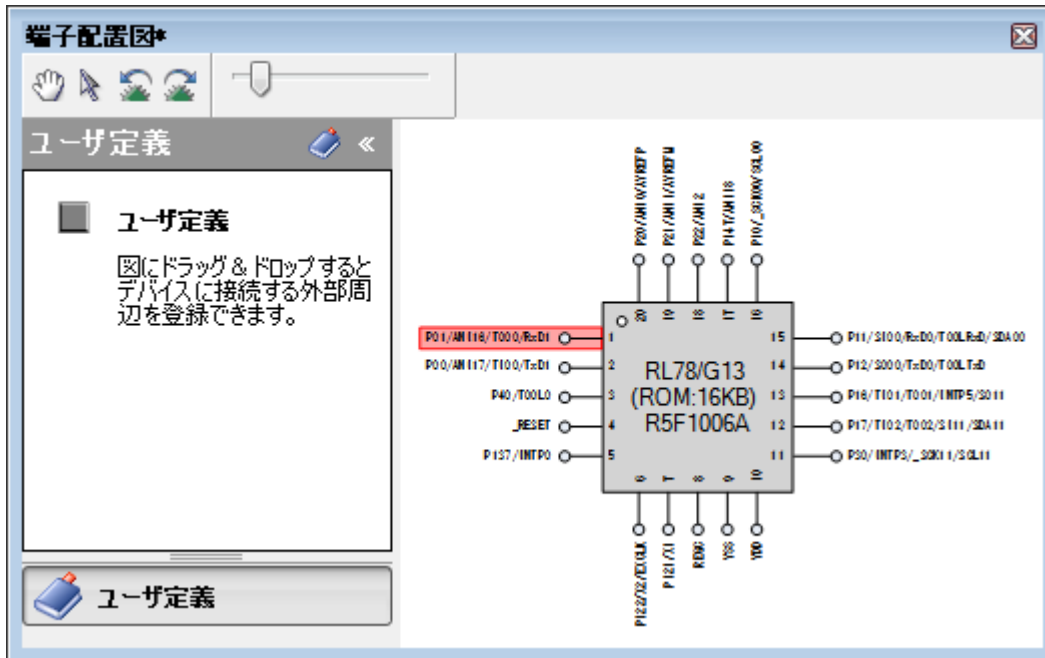
**備考** 削除可能な列は、**新しい列 ダイアログ** でユーザが独自に追加した列に限られます。

### 2.3 端子配置図 パネルのオープン

マイクロコントローラの各端子に関する情報の記述状況を確認するための端子配置図パネルをオープンします。

なお、端子配置図パネルのオープンは、プロジェクト・ツリーパネルの [Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] → [端子配置図] をダブルクリックすることにより行います。

図 2.6 端子図配置 パネルのオープン



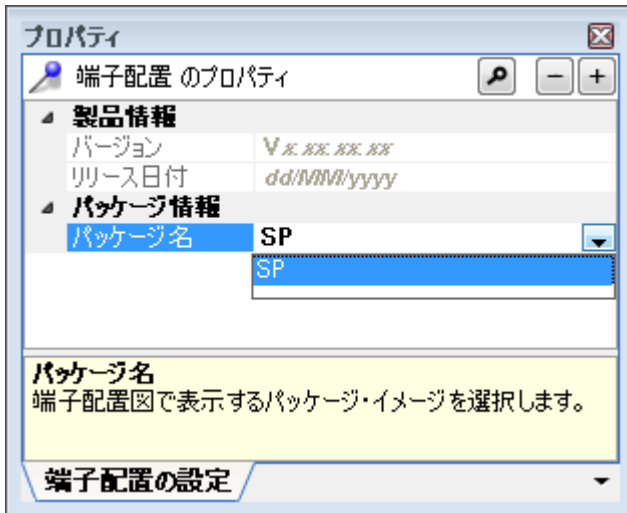
備考 プロパティパネルの [端子配置の設定] タブでパッケージ名に“BGA”を選択している場合、端子配置図パネルをオープンすることができません。

### 2.3.1 マイクロコントローラの形状選択

「2.3 端子配置図 パネルのオープン」でオープンした端子配置図 パネルに表示するマイクロコントローラの形状を選択します。

なお、マイクロコントローラの形状選択は、プロパティ パネルの [端子配置の設定] タブ → [パッケージ情報] → [パッケージ名] で該当形状を選択することにより行います。

図 2.7 マイクロコントローラの形状選択



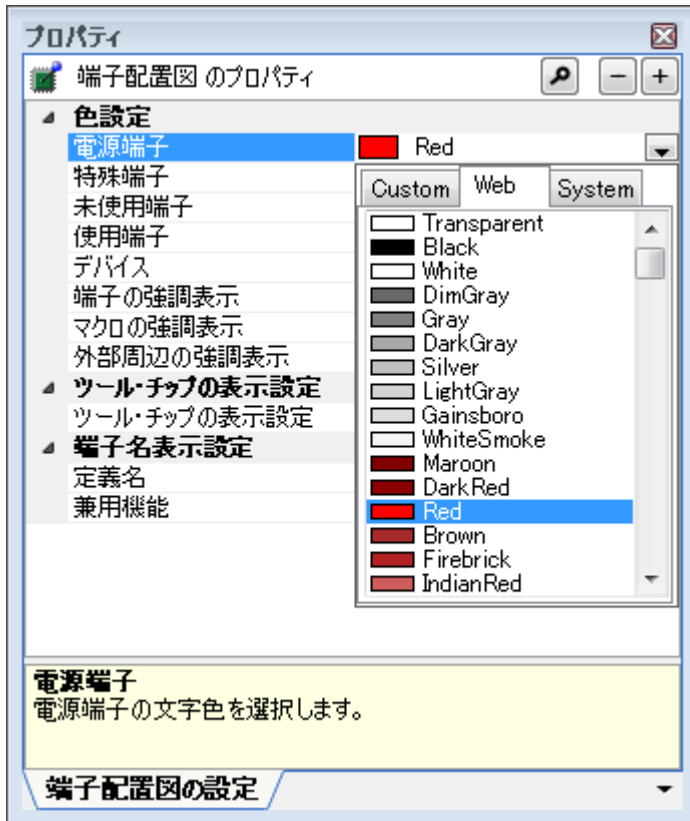
備考 マイクロコントローラの形状選択は、オーダ名称 (GC, GF など) で行います。

### 2.3.2 表示色の選択

「2.3 端子配置図 パネルのオープン」でオープンした端子配置図 パネルの各端子（電源端子、特殊端子、未使用端子など）に関する情報の記述状況を確認するための表示色を選択します。

なお、表示色の選択は、プロパティ パネルの [端子配置図の設定] タブ→ [色設定] で該当色を選択することにより行います。

図 2.8 表示色の選択



備考 表示色の選択は、以下の 8 種類に対して行います。

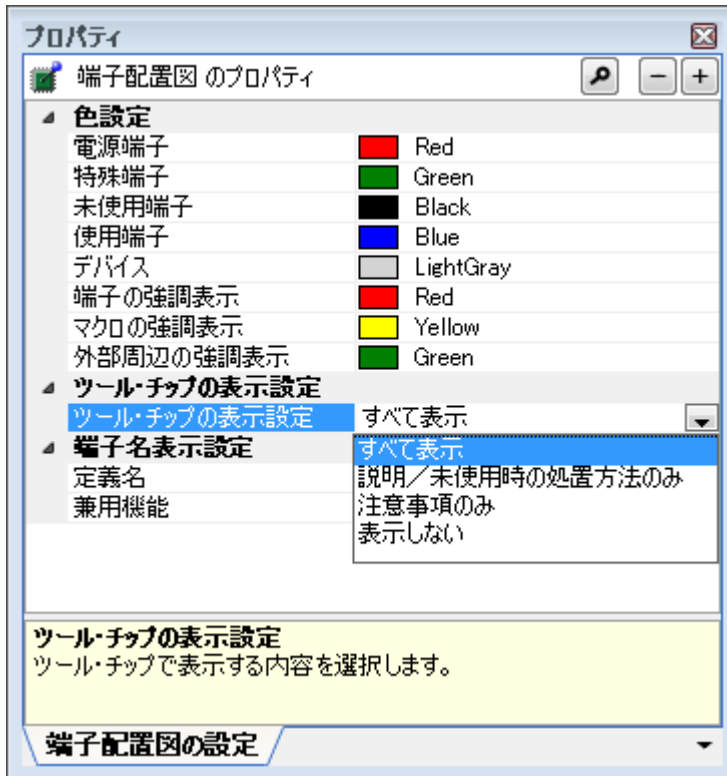
電源端子	電源端子（用途が電源に限定されている端子）の表示色を選択します。
特殊端子	特殊端子（用途が規定されている端子）の表示色を選択します。
未使用端子	未使用端子（端子配置表 パネルにおいて、用途が未設定の兼用端子）の表示色を選択します。
使用端子	使用端子（端子配置表 パネルにおいて、用途が設定済みの兼用端子）の表示色を選択します。
デバイス	マイクロコントローラ本体部の表示色を選択します。
端子の強調表示	端子配置表 パネルの [端子番号] タブで選択された項目に対応した端子の背景色を選択します。
マクロの強調表示	端子配置表 パネルの [マクロ] タブで選択された項目に対応した端子の背景色を選択します。
外部周辺の強調表示	端子配置表 パネルの [外部周辺] タブで選択された項目に対応した端子の背景色を選択します。

### 2.3.3 ポップアップ情報の選択

「2.3 端子配置図 パネルのオープン」でオープンした端子配置図 パネルの各端子上にマウス・カーソルを移動した際にポップアップ表示させる情報の種類を選択します。

なお、ポップアップ情報の選択は、プロパティ パネルの [端子配置図の設定] タブ → [ツール・チップの表示設定] → [ツール・チップの表示設定] で該当種類を選択することにより行います。

図 2.9 ポップアップ情報の選択



備考 ポップアップ情報の選択は、以下の4種類から行います。

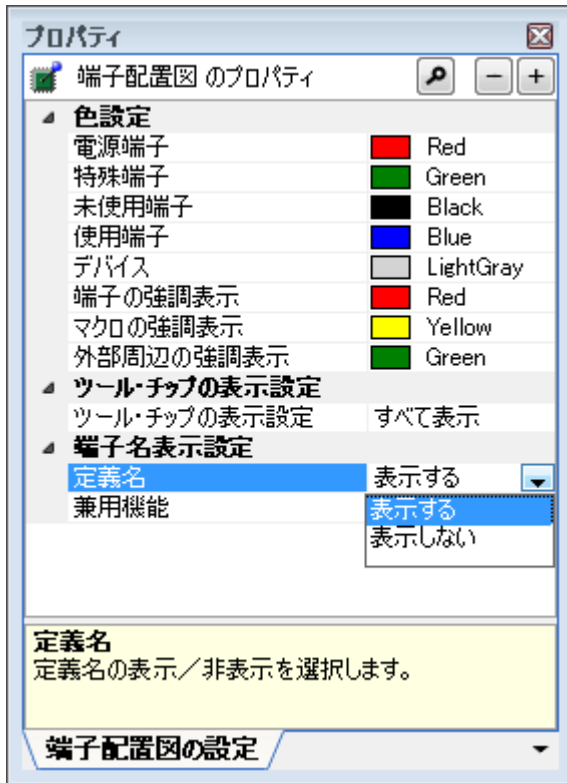
すべて表示	端子配置表の“説明”，“未使用時の処置方法”，“注意事項”に記載されている文字列を表示します。
説明／未使用時の処置方法のみ	端子配置表の“説明”，“未使用時の処置方法”に記載されている文字列を表示します。
注意事項のみ	端子配置表の“注意事項”に記載されている文字列を表示します。
表示しない	端子上にマウス・カーソルを移動しても、何も表示しません。

### 2.3.4 付加情報の選択

「2.3 端子配置図 パネルのオープン」でオープンした端子配置図 パネルの端子部分に表示させる情報の種類を選択します。

なお、付加情報の選択は、プロパティ パネルの [端子配置図の設定] タブ→ [端子名表示設定] で該当情報を選択することにより行います。

図 2.10 付加情報の選択



備考 1. 定義名（端子配置表の“定義名”に記載された文字列を付与した形式で表示するか否か）については、以下の2種類から選択します。

表示する	端子配置表の“定義名”に記載されている文字列を付与した形式で表示します。
表示しない	端子配置表の“定義名”に記載されている文字列を付与しません。

備考 2. 兼用機能（端子配置表の“選択機能”で機能を選択した際、非選択機能についても表示するか否か）については、以下の2種類から選択します。

すべて	端子配置表の“選択機能”で選択された機能をかっこで括った形式で表示します。
選択機能のみ	端子配置表の“選択機能”で選択された機能のみを端子配置図に表示します。

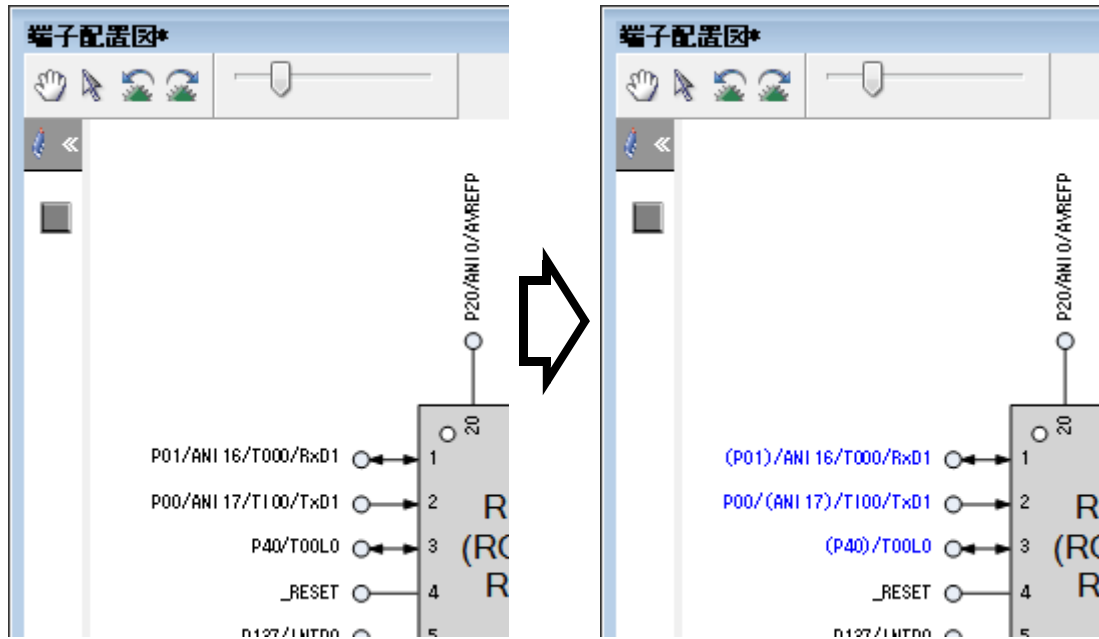


## 2.4 情報の記述

「2.2 端子配置表 パネルのオープン」でオープンした端子配置表 パネルでマイクロコントローラの各端子に関する情報を記述します。

- 備考 1. 端子配置表の“端子番号”、“端子名”、“説明”、“未使用時の処置方法”、“注意事項”については、固定化された情報のため、該当欄に情報を追記することはできません。
- 備考 2. “選択機能”欄の Free を固有端子名に変更した場合、端子配置図 パネルの該当端子色がプロパティ パネルの [端子配置図の設定] タブ → [色設定] で選択された“未使用端子の表示色”から“使用端子の表示”へと変化します。

図 2.11 表示色の変化



## 2.5 レポート・ファイルの出力

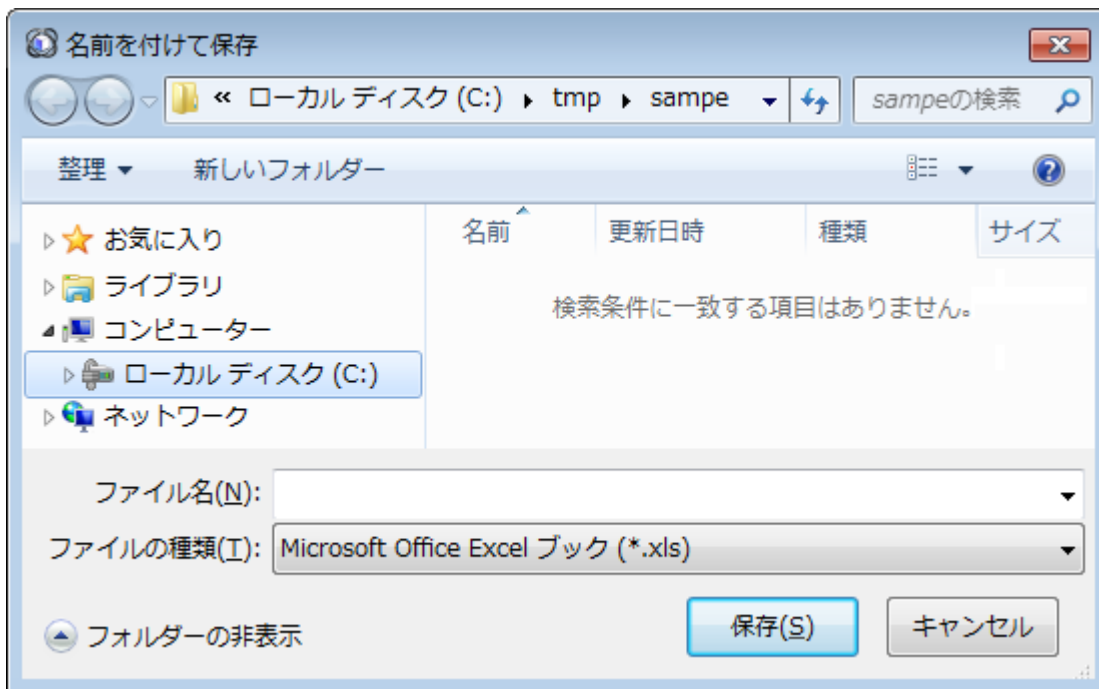
レポート・ファイル（端子配置を用いて設定した情報を保持したファイル：端子配置表、端子配置図）を指定されたフォルダに出力します。

### 2.5.1 端子配置表の出力

[ファイル]メニュー→[名前を付けて 端子配置表 を保存 ...]を選択し、レポート・ファイル（端子配置を用いて設定した情報を保持したファイル：端子配置表）を出力します。

なお、端子配置表の出力先は、[ファイル]メニュー→[名前を付けて 端子配置表 を保存 ...]を選択することによりオープンする名前を付けて保存ダイアログで指定されたフォルダとなります。

図 2.12 端子配置表の出力



備考 1. すでに端子配置表が出力されていた場合、[ファイル]メニュー→[端子配置表 を保存]を選択することにより、該当表を上書きします。

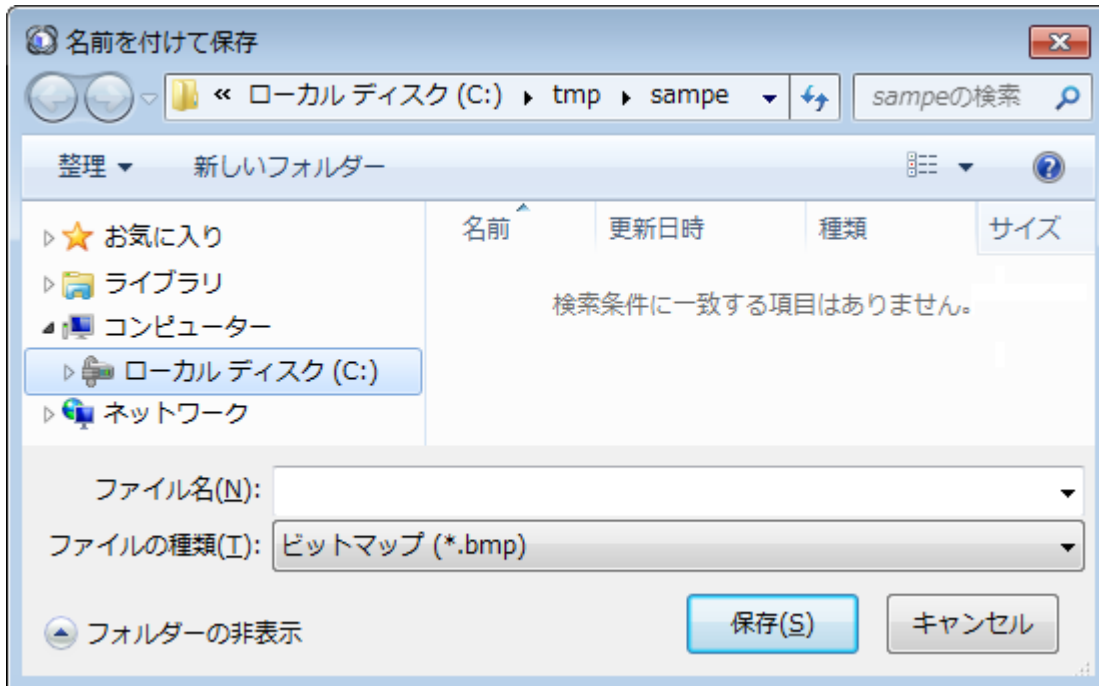
備考 2. 端子配置表の出力形式は、Microsoft Office Excel ブック形式に限られます。

## 2.5.2 端子配置図の出力

[ファイル] メニュー→ [名前を付けて 端子配置図 を保存 ...] を選択し、レポート・ファイル（端子配置を用いて設定した情報を保持したファイル：端子配置図）を出力します。

なお、端子配置図の出力先は、[ファイル] メニュー→ [名前を付けて 端子配置図 を保存 ...] を選択することによりオープンする名前を付けて保存 ダイアログで指定されたフォルダとなります。

図 2.13 端子配置図の出力



備考 すでに端子配置図が出力されていた場合、[ファイル] メニュー→ [端子配置図 を保存] を選択することにより、該当図を上書きします。

## A. ウィンドウ・リファレンス

本付録では、端子配置のウィンドウ／パネル／ダイアログについて解説しています。

### A.1 概要

以下に、端子配置のウィンドウ／パネル／ダイアログの一覧を示します。

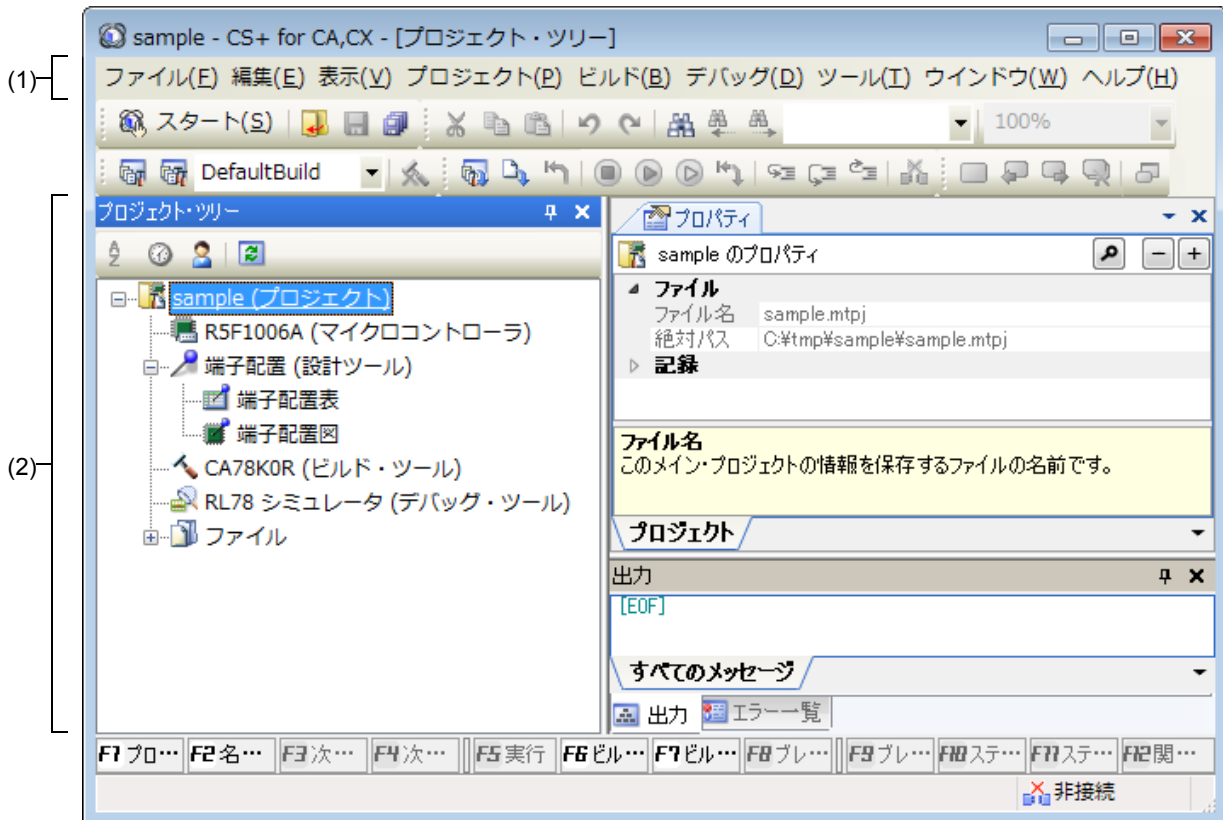
表 A.1 ウィンドウ／パネル／ダイアログの一覧

ウィンドウ／パネル／ダイアログ名	機能概要
メイン・ウィンドウ	CS+ を起動した際、最初にオープンするウィンドウであり、本ウィンドウから CS+ が提供している各種コンポーネント（設計ツール、ビルド・ツールなど）に対する操作を行います。
プロジェクト・ツリー パネル	プロジェクトの構成要素（マイクロコントローラ、設計ツール、ビルド・ツールなど）をツリー形式で表示します。
プロパティ パネル	プロジェクト・ツリー パネルで選択したノードに対応した情報の表示、および設定の変更を行います。
端子配置表 パネル	マイクロコントローラの各端子に関する情報を記述します。
端子配置図 パネル	端子配置表 パネルにおける情報の記述状況を表示します。
出力 パネル	CS+ が提供している各種コンポーネント（設計ツール、ビルド・ツールなど）の操作ログを表示します。
列の選択 ダイアログ	本ダイアログに表示されている項目を端子配置表に表示するか否かの選択、および端子配置表に対する列の追加／削除を行います。
新しい列 ダイアログ	端子配置表に列を追加します。
名前を付けて保存 ダイアログ	ファイルに名前を付けて保存します。

## メイン・ウィンドウ

CS+ を起動した際、最初にオープンするウィンドウであり、本ウィンドウから CS+ が提供している各種コンポーネント（設計ツール、ビルド・ツールなど）に対する操作を行います。

図 A.1 メイン・ウィンドウ



ここでは、次の項目について説明します。

- [オープン方法]
- [各エリアの説明]

### [オープン方法]

- Windows の [スタート] メニューから [プログラム] → [Renesas Electronics CS+] → [CS+] を選択

### [各エリアの説明]

- (1) メニューバー  
本エリアは、以下に示したメニュー群から構成されています。

(a) [ファイル] メニュー

端子配置表 を保存	端子配置表 パネル専用部分 レポート・ファイル（端子配置を用いて設定した情報を保持したファイル：端子配置表）を既存のファイルに上書きします。
名前を付けて 端子配置表 を保存 ...	端子配置表 パネル専用部分 レポート・ファイル（端子配置を用いて設定した情報を保持したファイル：端子配置表）に名前を付けて保存するための名前を付けて保存 ダイアログをオープンします。

端子配置図 を保存	端子配置図 パネル専用部分 レポート・ファイル（端子配置を用いて設定した情報を保持したファイル：端子配置図）を既存のファイルに上書きします。
名前を付けて 端子配置図 を保存 ...	端子配置図 パネル専用部分 レポート・ファイル（端子配置を用いて設定した情報を保持したファイル：端子配置図）に名前を付けて保存するための名前を付けて保存 ダイアログをオープンします。
出力 - タブ名 を保存	出力 パネル専用部分 該当タブのメッセージを既存のファイルに上書き保存します。
名前を付けて 出力 - タブ名 を保存 ...	出力 パネル専用部分 該当タブのメッセージに名前を付けて保存するための名前を付けて保存 ダイアログをオープンします。

## (b) [編集] メニュー

元に戻す	プロパティ パネル専用部分 直前に行った編集作業を取り消します。
切り取り	プロパティ パネル専用部分 選択している文字列を切り取り、クリップ・ボードに保存します。
コピー	プロパティ パネル／出力 パネル専用部分 選択している文字列をクリップ・ボードに保存します。
貼り付け	プロパティ パネル専用部分 指定された箇所に、クリップ・ボードの内容を挿入します。
削除	プロパティ パネル専用部分 選択している文字列を削除します。
すべて選択	プロパティ パネル／出力 パネル専用部分 編集中の項目に表示されている全文字列、またはメッセージ・エリアに表示されている全文字列を選択します。
検索 ...	端子配置表 パネル／出力 パネル専用部分 文字列検索を行うための検索・置換 ダイアログを [クイック検索] タブが選択された状態でオープンします。
置換 ...	出力 パネル専用部分 文字列置換を行うための検索・置換 ダイアログを [一括置換] タブが選択された状態でオープンします。

## (c) [表示] メニュー

プロジェクト・ツリー	プロジェクト・ツリー パネル専用部分 プロジェクト・ツリー パネルをオープンします。
プロパティ	プロパティ パネル専用部分 プロパティ パネルをオープンします。
出力	出力 パネル専用部分 出力 パネルをオープンします。
端子配置	次のカスケード・メニューを表示します。
	端子配置表 端子配置表 パネル専用部分 端子配置表 パネルをオープンします。
	端子配置図 端子配置図 パネル専用部分 端子配置図 パネルをオープンします。

## (d) [ヘルプ] メニュー

プロジェクト・ツリー パネルのヘルプを開く	プロジェクト・ツリー パネル専用部分 プロジェクト・ツリー パネルのヘルプを表示します。
プロパティ パネルのヘルプを開く	プロパティ パネル専用部分 プロパティ パネルのヘルプを表示します。
端子配置表 パネルのヘルプを開く	端子配置表 パネル専用部分 端子配置表 パネルのヘルプを表示します。
端子配置図 パネルのヘルプを開く	端子配置図 パネル専用部分 端子配置図 パネルのヘルプを表示します。
出力 パネルのヘルプを開く	出力 パネル専用部分 出力 パネルのヘルプを表示します。

## (2) パネル表示エリア

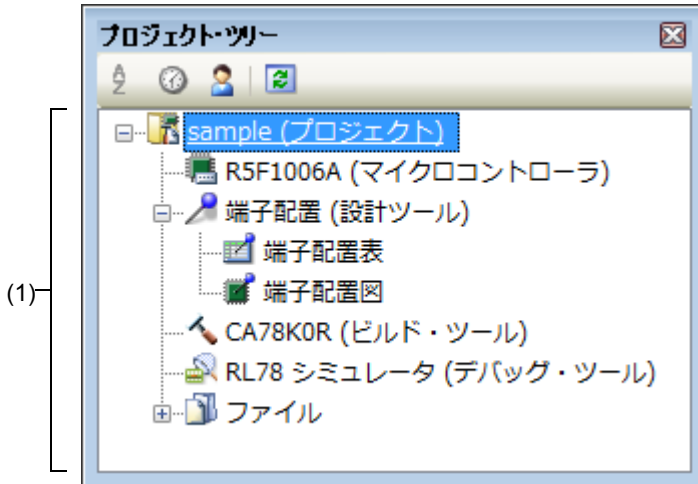
本エリアは、用途別に用意された各種パネルから構成されています。  
本エリアについての詳細は、以下を参照してください。

- プロジェクト・ツリー パネル
- プロパティ パネル
- 端子配置表 パネル
- 端子配置図 パネル
- 出力 パネル

## プロジェクト・ツリー パネル

プロジェクトの構成要素（マイクロコントローラ、設計ツール、ビルド・ツールなど）をツリー形式で表示します。

図 A.2 プロジェクト・ツリー パネル



ここでは、次の項目について説明します。

- [オープン方法]
- [各エリアの説明]
- [コンテキスト・メニュー]

### [オープン方法]

- [表示] メニュー → [プロジェクト・ツリー] を選択

### [各エリアの説明]

- (1) プロジェクト・ツリー・エリア  
プロジェクトの構成要素（マイクロコントローラ、設計ツール、ビルド・ツールなど）をツリー形式で表示します。
- (a) 端子配置（設計ツール）  
本ノードは、以下に示した端子配置ノードから構成されています。

端子配置表	マイクロコントローラの各端子に関する情報を記述するための端子配置表 パネルをオープンします。
端子配置図	端子配置表 パネルにおける情報の記述状況を表示するための端子配置図 パネルをオープンします。

### [コンテキスト・メニュー]

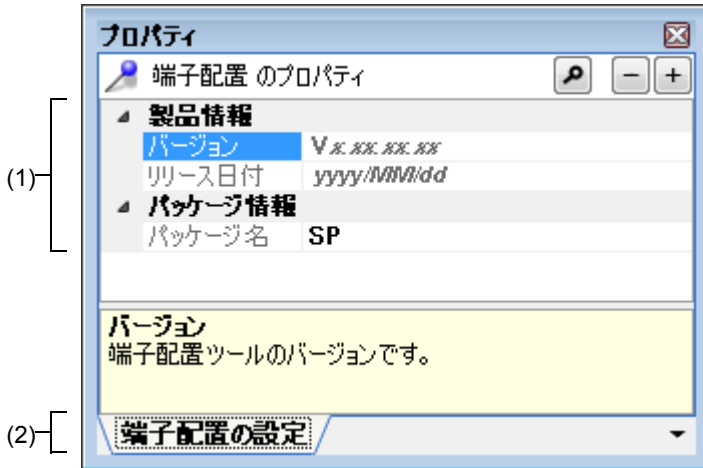
リセット時の設定に戻す	選択しているノードの設定内容をデフォルトに戻します。
プロパティ	選択しているノードに対応したプロパティ パネルをオープンします。



## プロパティ パネル

プロジェクト・ツリーパネルで選択したノードに対応した情報の表示、および設定の変更を行います。

図 A.3 プロパティ パネル



ここでは、次の項目について説明します。

- [オープン方法]
- [各エリアの説明]
- [コンテキスト・メニュー]

### [オープン方法]

- プロジェクト・ツリーパネルにおいて、[Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] を選択したのち、[表示] メニュー → [プロパティ] を選択
- プロジェクト・ツリーパネルにおいて、[Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] を選択したのち、コンテキスト・メニューから [プロパティ] を選択
- プロジェクト・ツリーパネルにおいて、[Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] → [端子配置表] を選択したのち、[表示] メニュー → [プロパティ] を選択
- プロジェクト・ツリーパネルにおいて、[Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] → [端子配置表] を選択したのち、コンテキスト・メニューから [プロパティ] を選択
- プロジェクト・ツリーパネルにおいて、[Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] → [端子配置図] を選択したのち、[表示] メニュー → [プロパティ] を選択
- プロジェクト・ツリーパネルにおいて、[Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] → [端子配置図] を選択したのち、コンテキスト・メニューから [プロパティ] を選択

- 備考 1.       すでに本パネルがオープンしていた場合、プロジェクト・ツリーパネルの [端子配置 (設計ツール)] を選択することにより、表示内容が切り替わります。
- 備考 2.       すでに本パネルがオープンしていた場合、プロジェクト・ツリーパネルの [端子配置表] を選択することにより、表示内容が切り替わります。
- 備考 3.       すでに本パネルがオープンしていた場合、プロジェクト・ツリーパネルの [端子配置図] を選択することにより、表示内容が切り替わります。

### [各エリアの説明]

- (1) 詳細情報表示/変更エリア  
プロジェクト・ツリーパネルで選択したノードに対応した情報の表示、および設定の変更を行います。  
なお、本エリアの表示内容については、プロジェクト・ツリーパネルで選択したノードの種類により異なります。

## (2) タブ選択エリア

このパネルには、次のタブが存在します（各タブ上における表示内容／設定方法についての詳細は、該当するタブの項を参照してください）。

- [端子配置の設定] タブ
- [端子配置表の情報] タブ
- [端子配置図の設定] タブ

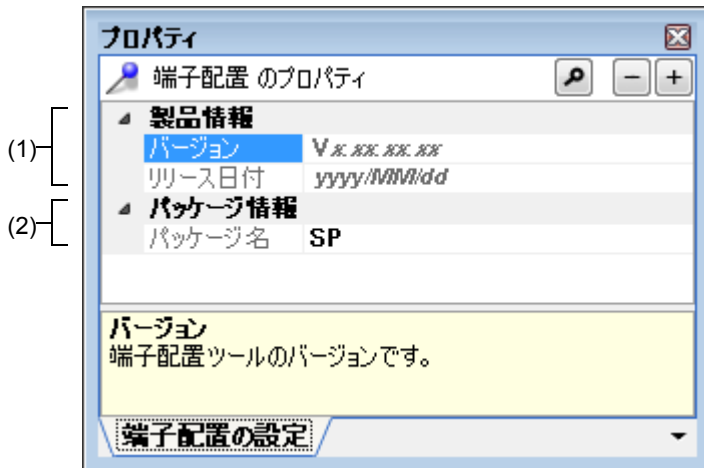
## [コンテキスト・メニュー]

元に戻す	直前に行った編集作業を取り消します。
切り取り	選択している文字列を切り取り、クリップ・ボードに保存します。
コピー	選択している文字列をクリップ・ボードに保存します。
貼り付け	指定された箇所に、クリップ・ボードの内容を挿入します。
削除	選択している文字列を削除します。
すべて選択	編集中の項目に表示されている全文字列を選択します。

## [端子配置の設定] タブ

プロジェクト・ツリーパネルで選択した [端子配置 (設計ツール)] に対応した情報 (製品情報, パッケージ情報) の表示を行います。

図 A.4 [端子配置の設定] タブ



ここでは、次の項目について説明します。

- [オープン方法]
- [各エリアの説明]

### [オープン方法]

- プロジェクト・ツリーパネルにおいて、[Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] を選択したのち、[表示] メニュー → [プロパティ] を選択
- プロジェクト・ツリーパネルにおいて、[Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] を選択したのち、コンテキスト・メニューから [プロパティ] を選択

備考 すでに本パネルがオープンしていた場合、プロジェクト・ツリーパネルの [端子配置 (設計ツール)] を選択することにより、表示内容が切り替わります。

### [各エリアの説明]

- (1) [製品情報] カテゴリ  
端子配置に関する製品情報 (バージョン, リリース日付) の表示を行います。

バージョン	端子配置 (端子配置プラグイン) のバージョンを表示します。
リリース日付	端子配置 (端子配置プラグイン) のリリース日付を表示します。

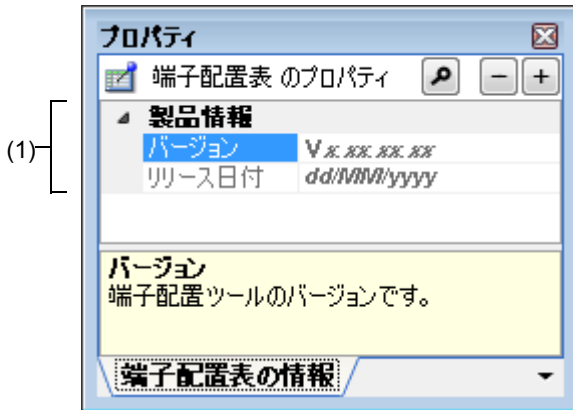
- (2) [パッケージ情報] カテゴリ  
端子配置図パネルに端子配置図として表示するマイクロコントローラの形状 (パッケージ名) を選択します。

パッケージ名	端子配置図として表示するマイクロコントローラの形状を選択します。
--------	----------------------------------

## [端子配置表の情報] タブ

プロジェクト・ツリーパネルで選択した [端子配置表] に対応した情報（製品情報）の表示を行います。

図 A.5 [端子配置表の情報] タブ



ここでは、次の項目について説明します。

- [オープン方法]
- [各エリアの説明]

### [オープン方法]

- プロジェクト・ツリーパネルにおいて、[Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] → [端子配置表] を選択したのち、[表示] メニュー → [プロパティ] を選択
- プロジェクト・ツリーパネルにおいて、[Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] → [端子配置表] を選択したのち、コンテキスト・メニューから [プロパティ] を選択

備考 すでに本パネルがオープンしていた場合、プロジェクト・ツリーパネルの [端子配置表] を選択することにより、表示内容が切り替わります。

### [各エリアの説明]

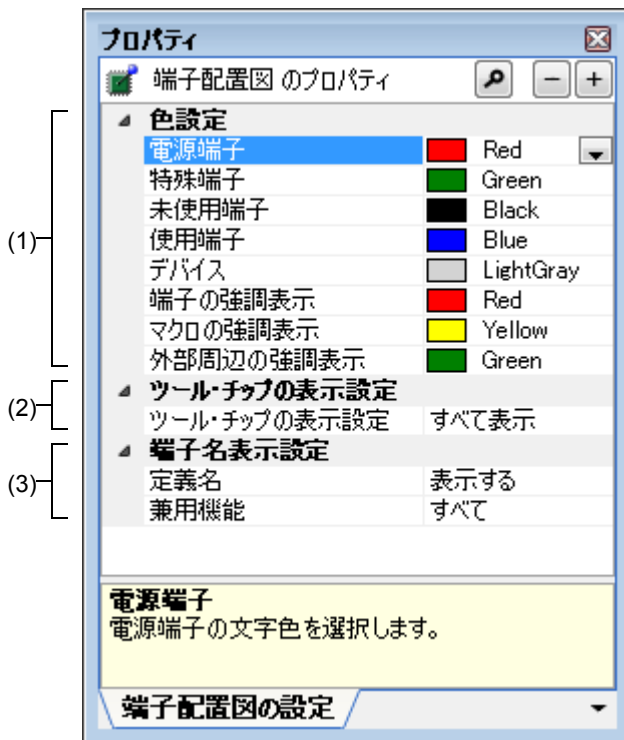
- (1) [製品情報] カテゴリ  
端子配置に関する製品情報（バージョン、リリース日付）の表示を行います。

バージョン	端子配置（端子配置プラグイン）のバージョンを表示します。
リリース日付	端子配置（端子配置プラグイン）のリリース日付を表示します。

## [端子配置図の設定] タブ

プロジェクト・ツリーパネルで選択した [端子配置図] に対応した情報（色設定、ツール・チップの表示設定、端子名表示設定）の表示、および設定の変更を行います。

図 A.6 [端子配置図の設定] タブ



ここでは、次の項目について説明します。

- [オープン方法]
- [各エリアの説明]

### [オープン方法]

- プロジェクト・ツリーパネルにおいて、[Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] → [端子配置図] を選択したのち、[表示] メニュー → [プロパティ] を選択
- プロジェクト・ツリーパネルにおいて、[Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] → [端子配置図] を選択したのち、コンテキスト・メニューから [プロパティ] を選択

備考 すでに本パネルがオープンしていた場合、プロジェクト・ツリーパネルの [端子配置図] を選択することにより、表示内容が切り替わります。

### [各エリアの説明]

- (1) [色設定] カテゴリ  
端子配置図の端子をグループ単位（電源端子、特殊端子など）に区別するための表示色を選択します。

電源端子	電源端子（用途が電源に限定されている端子）の表示色を選択します。
特殊端子	特殊端子（用途が規定されている端子）の表示色を選択します。
未使用端子	未使用端子（端子配置表パネルにおいて、用途が未設定の兼用端子）の表示色を選択します。
使用端子	使用端子（端子配置表パネルにおいて、用途が設定済みの兼用端子）の表示色を選択します。

デバイス	マイクロコントローラ本体部の表示色を選択します。
端子の強調表示	端子配置表 パネルの [端子番号] タブで選択された項目に対応した端子の背景色を選択します。
マクロの強調表示	端子配置表 パネルの [マクロ] タブで選択された項目に対応した端子の背景色を選択します。
外部周辺の強調表示	端子配置表 パネルの [外部周辺] タブで選択された項目に対応した端子の背景色を選択します。

## (2) [端子ツール・チップの表示設定] カテゴリ

端子配置図の端子上にマウス・カーソルを移動した際、該当端子に関する情報をポップアップ表示させるか否かを選択します。

ツール・チップの表示設定	端子配置図の端子上にマウス・カーソルを移動した際、該当端子に関する情報をポップアップ表示されるか否かを選択します。	
	すべて表示	端子配置表の“説明”，“未使用時の処置方法”，“注意事項”に記載されている文字列を表示します。
	説明／未使用時の処置方法のみ	端子配置表の“説明”，“未使用時の処置方法”に記載されている文字列を表示します。
	注意事項のみ	端子配置表の“注意事項”に記載されている文字列を表示します。
	表示しない	端子上にマウス・カーソルを移動しても、何も表示しません。

## (3) [端子名表示設定] カテゴリ

端子の付加情報を端子配置図に表示するか否かを選択します。

定義名	端子配置図の端子を、端子配置表の“定義名”に記載された文字列を付与した形式で表示するか否かを選択します。	
	表示する	端子配置表の“定義名”に記載されている文字列を付与した形式で表示します。
	表示しない	端子配置表の“定義名”に記載されている文字列を付与しません。
兼用機能	端子配置表の“選択機能”で機能を選択した際、非選択機能についても端子配置図に表示するか否かを選択します。	
	すべて	端子配置表の“選択機能”で選択された機能をかっこで括った形式で表示します。
	選択機能のみ	端子配置表の“選択機能”で選択された機能のみを端子配置図に表示します。

## 端子配置表 パネル

マイクロコントローラの各端子に関する情報を記述します。

備考 ツールバーの  , または [Ctrl] キーを押下しながらマウス・ホイールを操作することにより、端子配置表エリアの内容を拡大／縮小することができます。

図 A.7 端子配置表 パネル



ここでは、次の項目について説明します。

- [オープン方法]
- [各エリアの説明]


### [オープン方法]



- プロジェクト・ツリー パネルの [Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] → [端子配置表] をダブルクリック
- プロジェクト・ツリー パネルの [Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] → [端子配置表] を選択したのち、[Enter] キーを押下
- [表示] メニュー → [端子配置] → [端子配置表] を選択

### [各エリアの説明]

- (1) ツールバー  
本エリアは、以下に示したボタン群から構成されています。

	端子配置表エリアの情報を展開表示します。
	端子配置表エリアの情報を折りたたみ表示します。
	[マクロ] タブの第1階層に表示されている周辺機能を選択したのち、本ボタンをクリックすることにより、選択機能、I/O、N-ch などといった各欄に対する情報の設定処理が自動実行されます。
	[マクロ] タブの第1階層に表示されている周辺機能を選択したのち、本ボタンをクリックすることにより、選択機能、I/O、N-ch などといった各欄の情報が初期化されます。
	本ボタンをクリックすることにより、[外部周辺] タブに外部周辺コントローラに関する情報が、端子配置図 パネルに外部周辺コントローラが作成表示されます。

	[外部周辺] タブの第 1 階層に表示されている外部周辺コントローラを選択したのち、本ボタンをクリックすることにより、該当情報が削除されます。
---	---

- 備考 1.  ボタンをクリックした際には、[端子番号] タブ、および [マクロ] タブの“外部周辺”列の選択肢として該当情報が追加されます。
- 備考 2.  ボタンをクリックした際には、端子配置図 パネルの端子配置図エリアから該当外部周辺部品が削除されます。
- (2) 端子配置表エリア  
マイクロコントローラの各端子に関する情報を記述するための“端子配置表”を表示します。
- (3) タブ選択エリア  
タブを選択することにより、“マイクロコントローラの各端子に関する情報”の表示順序が切り替わります。本パネルには、次のタブが存在します。
- [端子番号] タブ  
マイクロコントローラの各端子に関する情報を端子番号順で表示
  - [マクロ] タブ  
マイクロコントローラの各端子に関する情報を周辺機能単位にグルーピングされた順序で表示
  - [外部周辺] タブ  
外部周辺に接続された端子に関する情報を外部周辺部品単位にグルーピングされた順序で表示



## [端子番号] タブ

マイクロコントローラの各端子に関する情報を端子番号順で表示します。

図 A.8 [端子番号] タブ



ここでは、次の項目について説明します。

- [オープン方法]
- [各エリアの説明]

### [オープン方法]


- プロジェクト・ツリーパネルの [Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] → [端子配置表] をダブルクリック
- プロジェクト・ツリーパネルの [Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] → [端子配置表] を選択したのち、[Enter] キーを押下
- [表示] メニュー → [端子配置] → [端子配置表] を選択

### [各エリアの説明]

- (1) 端子配置表エリア  
 マイクロコントローラの各端子に関する情報を記述するための“端子配置表”を表示します。  
 なお、本エリアの端子配置表は、端子番号順となっています。  
 以下に、端子配置表を構成する列を示します。

端子番号	該当端子の端子番号を表示します。
端子名	該当端子の端子名を表示します。
選択機能	該当端子が複数の機能を有している際、“どのような機能で利用するのか”を選択するための領域です。
I/O	該当端子の入出力モードを選択するための領域です。
N-ch	該当端子を出力モードで使用する際、“どのような出力モードで利用するのか”を選択するための領域です。
定義名	該当端子に“ユーザ独自の端子名”を付与するための領域です。 なお、定義名として入力可能な文字数は、256文字までに限られます。
説明	該当端子の機能概要を表示します。

未使用時の処置方法	該当端子を使用しない場合の処置方法を表示します。 なお、本欄は、“選択機能”欄で Free が選択されている場合に限り表示され ます。
注意事項	該当端子を使用するうえで注意すべき事項を表示します。
外部周辺	該当端子を“どの外部周辺コントローラに接続するのか”を選択するための領域 です。

- 備考 1. “端子番号”，“端子名”，“説明”，“未使用時の処置方法”，“注意事項”については、固定化された情報のため、該当欄に情報を追記することはできません。
- 備考 2. “選択機能”欄の Free を固有端子名に変更した場合、[端子配置図](#) [パネル](#)の該当端子色が[プロパティ](#) [パネル](#)の [\[端子配置図の設定\]](#) [タブ](#)→ [\[色設定\]](#) で選択された“未使用端子の表示色”から“使用端子の表示”へと変化します。
- 備考 3. 列の移動（表示順序の変更）は、端子配置表の該当列をドラッグしたのち、移動先にドロップすることにより行います。
- 備考 4. “ユーザ独自の列”を追加する場合、端子配置表の左上に設けられた  ボタンをクリックすることによりオープンする列の[選択](#) [ダイアログ](#)の [\[新しい列 ...\]](#) ボタンをクリックすることによりオープンする[新しい列](#) [ダイアログ](#)で行います。

## [マクロ] タブ

マイクロコントローラの各端子に関する情報を周辺機能単位にグルーピングされた順序で表示します。

図 A.9 [マクロ] タブ



ここでは、次の項目について説明します。

- [オープン方法]
- [各エリアの説明]

### [オープン方法]

- プロジェクト・ツリーパネルの [Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] → [端子配置表] をダブルクリック
- プロジェクト・ツリーパネルの [Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] → [端子配置表] を選択したのち、[Enter] キーを押下
- [表示] メニュー → [端子配置] → [端子配置表] を選択

### [各エリアの説明]

- (1) 端子配置表エリア  
マイクロコントローラの各端子に関する情報を記述するための“端子配置表”を表示します。  
なお、本エリアの端子配置表は、周辺機能単位にグルーピングされた順序となっています。


- (a) 第1階層  
以下に、端子配置表を構成する列を示します。

マクロ名	周辺機能の名称を表示します。
総数	周辺機能に対して割り当てられている端子の総数を表示します。
使用中	用途が設定済みの端子の総数を表示します。
他で使用	他の周辺機能で用途が設定済みの端子の総数を表示します。

- (b) 第2階層  
以下に、端子配置表を構成する列を示します。

端子番号	該当端子の端子番号を表示します。
端子名	該当端子の端子名を表示します。

選択機能	該当端子が複数の機能を有している際、“どのような機能で利用するのか”を選択するための領域です。
I/O	該当端子の入出力モードを選択するための領域です。
N-ch	該当端子を出力モードで使用する際、“どのような出力モードで利用するのか”を選択するための領域です。
定義名	該当端子に“ユーザ独自の端子名”を付与するための領域です。 なお、定義名として入力可能な文字数は、256文字までに限られます。
説明	該当端子の機能概要を表示します。
未使用時の処置方法	該当端子を使用しない場合の処置方法を表示します。 なお、本欄は、“選択機能”欄でFreeが選択されている場合に限り表示されます。
注意事項	該当端子を使用するうえで注意すべき事項を表示します。
外部周辺	該当端子を“どの外部周辺コントローラに接続するのか”を選択するための領域です。

- 備考 1. “マクロ名”，“総数”，“使用中”，“他で使用中”，“端子番号”，“端子名”，“説明”，“未使用時の処置方法”，“注意事項”については、固定化された情報のため、該当欄に情報を追記することはできません。
- 備考 2. “選択機能”欄のFreeを固有端子名に変更した場合、[端子配置図パネル](#)の該当端子色が[プロパティパネル](#)の[\[端子配置図の設定\] タブ](#)→[\[色設定\]](#)で選択された“未使用端子の表示色”から“使用端子の表示”へと変化します。
- 備考 3. 列の移動（表示順序の変更）は、端子配置表の該当列をドラッグしたのち、移動先にドロップすることにより行います。
- 備考 4. “ユーザ独自の列”を追加する場合、端子配置表の左上に設けられた  ボタンをクリックすることによりオープンする[列の選択ダイアログ](#)の[\[新しい列...\]](#)ボタンをクリックすることによりオープンする[新しい列ダイアログ](#)で行います。

## [外部周辺] タブ

外部周辺に接続された端子に関する情報を外部周辺部品単位にグルーピングされた順序で表示します。

図 A.10 [外部周辺] タブ



ここでは、次の項目について説明します。

- [オープン方法]
- [各エリアの説明]

### [オープン方法]

- プロジェクト・ツリーパネルの [Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] → [端子配置表] をダブルクリック
- プロジェクト・ツリーパネルの [Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] → [端子配置表] を選択したのち、[Enter] キーを押下
- [表示] メニュー → [端子配置] → [端子配置表] を選択

### [各エリアの説明]

#### (1) 端子配置表エリア

外部周辺コントローラの各端子に関する情報を記述するための“端子配置表”を表示します。

なお、本エリアの端子配置表は、外部周辺コントローラ単位にグルーピングされた順序となっています。

#### (a) 第1階層

以下に、端子配置表を構成する列を示します。


外部周辺名	外部周辺コントローラの名称を表示します。 なお、名称を変更する場合は、本欄を選択したのち、[F2] キーを押下することにより行います。
総数	マイクロコントローラとの接続用に割り当てられている端子の総数を表示します。

#### (b) 第2階層

以下に、端子配置表を構成する列を示します。

端子番号	該当端子の端子番号を表示します。
端子名	該当端子の端子名を表示します。
選択機能	該当端子が複数の機能を有している際、“どのような機能で利用するのか”を選択するための領域です。
I/O	該当端子の入出力モードを選択するための領域です。
N-ch	該当端子を出力モードで使用する際、“どのような出力モードで利用するのか”を選択するための領域です。
定義名	該当端子に“ユーザ独自の端子名”を付与するための領域です。 なお、定義名として入力可能な文字数は、256文字までに限られます。

説明	該当端子の機能概要を表示します。
未使用時の処置方法	該当端子を使用しない場合の処置方法を表示します。 なお、本欄は、“選択機能”欄で Free が選択されている場合に限り表示されます。
注意事項	該当端子を使用するうえで注意すべき事項を表示します。

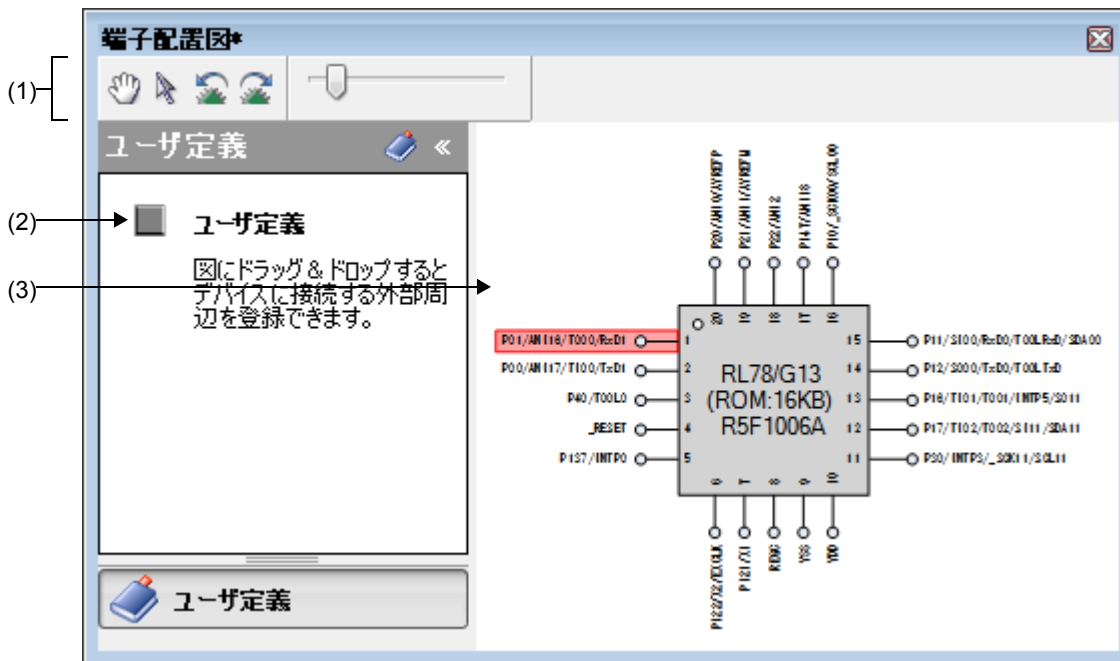
- 備考 1. “接続数”，“端子番号”，“端子名”，“説明”，“未使用時の処置方法”，“注意事項”については、固定化された情報のため、該当欄に情報を追記することはできません。
- 備考 2. “選択機能”欄の Free を固有端子名に変更した場合、[端子配置図パネル](#)の該当端子色が[プロパティパネル](#)の[\[端子配置図の設定\] タブ](#)→[\[色設定\]](#)で選択された“未使用端子の表示色”から“使用端子の表示”へと変化します。
- 備考 3. 列の移動（表示順序の変更）は、端子配置表の該当列をドラッグしたのち、移動先にドロップすることにより行います。
- 備考 4. “ユーザ独自の列”を追加する場合、端子配置表の左上に設けられた  ボタンをクリックすることによりオープンする[列の選択ダイアログ](#)の[\[新しい列 ...\]](#) ボタンをクリックすることによりオープンする[新しい列ダイアログ](#)で行います。

## 端子配置図 パネル

端子配置表 パネルにおける情報の記述状況を表示します。

備考 ツールバーの  により、端子配置図エリアの内容を拡大／縮小することができます。

図 A.11 端子配置図 パネル



ここでは、次の項目について説明します。

- [オープン方法]
- [各エリアの説明]
- [コンテキスト・メニュー]


### [オープン方法]






- プロジェクト・ツリーパネルの [Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] → [端子配置図] をダブルクリック
- プロジェクト・ツリーパネルの [Project name (プロジェクト)] → [端子配置 (設計ツール)] → [端子配置図] を選択したのち、[Enter] キーを押下
- [表示] メニュー → [端子配置] → [端子配置図] を選択


備考 プロパティパネルの [端子配置の設定] タブ → [パッケージ情報] → [パッケージ名] に "BGA" を選択している場合、本パネルをオープンすることができません。

### [各エリアの説明]

- (1) ツールバー  
本エリアは、以下に示したボタン群から構成されています。

	<p>本ボタンをクリックすることにより、ドラッグ・アンド・ドロップで端子配置図エリアの表示部分を変更することが可能となります。 なお、本ボタンのクリックにより、端子配置図エリア内におけるマウス・カーソルの形状が矢印から手形へと変化します。</p>
---	---

	本ボタンをクリックすることにより、 <a href="#">端子配置図エリア</a> に表示されている外部周辺部品を任意の位置に移動したり、端子を選択したりすることが可能となります。 なお、本ボタンのクリックにより、  ボタンのクリックにより変化したマウス・カーソルの形状が手形から矢印へと戻ります。
	<a href="#">端子配置図エリア</a> の内容を左に 90 度回転します。
	<a href="#">端子配置図エリア</a> の内容を右に 90 度回転します。
	<a href="#">端子配置図エリア</a> の内容を拡大／縮小します。

- (2) [ユーザ定義] エリア  
本エリア内の  ボタンを[端子配置図エリア](#)にドラッグ・アンド・ドロップすることにより、外部周辺コントローラが作成表示されます。

- (3) 端子配置図エリア  
マイクロコントローラの端子配置状況を表示します。  
なお、端子配置の設定状況については、[プロパティ パネル](#)の [端子配置図の設定] タブ→ [色設定] で指定された色での表示となります。

備考 図中の端子名をダブルクリックした際には、[端子配置表 パネル](#)がオープンし、表中の該当端子にフォーカスが遷移します。

## [コンテキスト・メニュー]

- (1) 端子上で右クリックした場合

機能選択	該当端子が複数の機能を有している際、“どのような機能で利用するのか”を選択します。
外部周辺選択	該当端子を“どの外部周辺コントローラに接続するのか”を選択します。

- (2) 外部周辺コントローラ上で右クリックした場合

接続端子の切断	該当端子との接続を切断します。
外部周辺削除	外部周辺コントローラを削除します。

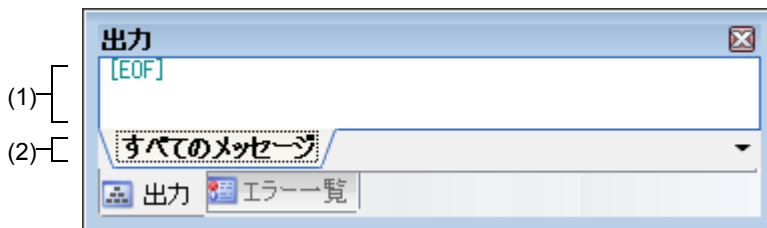


## 出力パネル

CS+ が提供している各種コンポーネント（設計ツール、ビルド・ツールなど）の操作ログを表示します。メッセージは、出力元のツールごとに分類されたタブ上でそれぞれ個別に表示されます。

備考 ツールバーの  , または [Ctrl] キーを押下しながらマウス・ホイールを操作することにより、**メッセージ・エリア**の内容を拡大／縮小することができます。

図 A.12 出力パネル



ここでは、次の項目について説明します。

- [オープン方法]
- [各エリアの説明]
- [コンテキスト・メニュー]

### [オープン方法]

- [表示] メニュー → [出力] を選択

### [各エリアの説明]

- (1) メッセージ・エリア  
各ツールから出力されたメッセージを表示します。  
なお、メッセージの文字色／背景色は、出力メッセージの種別により異なります（文字色／背景色はオプションダイアログにおける [全般 - フォントと色] カテゴリの設定に依存）。
- (2) タブ選択エリア  
メッセージの出力元を示すタブを選択します。  
端子配置では、次のタブを使用します。

すべてのメッセージ	CS+ が提供している全コンポーネント（設計ツール、ビルド・ツールなど）から出力されるメッセージを表示します（ラビッド・ビルドの実行によるメッセージを除く）。
-----------	---

**注意** 新たなメッセージが非選択状態のタブ上に出力されても、自動的なタブの表示切り替えは行いません。この場合、タブ名の先頭に“\*”が付加し、新たなメッセージが出力されていることを示します。

### [コンテキスト・メニュー]

コピー	選択している文字列をクリップ・ボードに保存します。
すべて選択	<b>メッセージ・エリア</b> に表示されている全文字列を選択します。
クリア	<b>メッセージ・エリア</b> に表示されている全文字列を消去します。
タグ・ジャンプ	キャレット行のメッセージに対応するエディタ（ファイル、行、桁）へジャンプします。

メッセージに関するヘルプ	メッセージに対応したヘルプを表示します。 ただし、本項目の選択は、カーレットが警告メッセージ/エラー・メッセージの表示行にある場合に限られます。
--------------	---

## 列の選択 ダイアログ

本ダイアログに表示されている項目を端子配置表に表示するか否かの選択、および端子配置表に対する列の翻訳追加／削除を行います。




図 A.13 列の選択 ダイアログ



ここでは、次の項目について説明します。

- [オープン方法]
- [各エリアの説明]
- [機能ボタン]

### [オープン方法]

- 端子配置表 パネルの [端子番号] タブにおいて、 ボタンをクリック
- 端子配置表 パネルの [マクロ] タブにおいて、 ボタンをクリック
- 端子配置表 パネルの [外部周辺] タブにおいて、 ボタンをクリック

### [各エリアの説明]

- (1) 操作対象選択エリア  
本ダイアログの操作対象となる端子配置表を選択します。

端子番号	[端子番号] タブの端子配置表を操作対象とします。
マクロ	[マクロ] タブの第 1 階層の端子配置表を操作対象とします。
マクロ - 端子	[マクロ] タブの第 2 階層の端子配置表を操作対象とします。
外部周辺	[外部周辺] タブの第 1 階層の端子配置表を操作対象とします。
外部周辺 - 端子	[外部周辺] タブの第 2 階層の端子配置表を操作対象とします。

- (2) 表示項目選択エリア  
該当項目を操作対象選択エリアで選択された端子配置表に表示するか否かを選択します。

チェック状態	該当項目を端子配置表に表示します。
非チェック状態	該当項目を端子配置表から非表示とします。

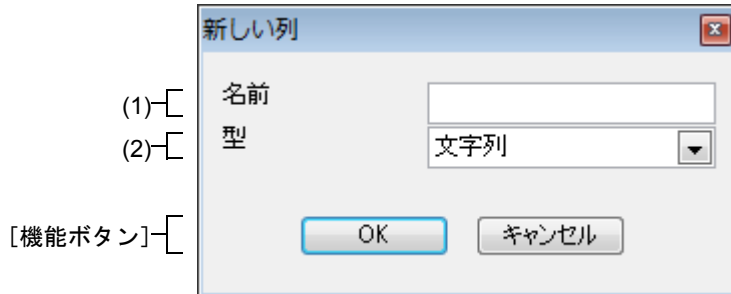
## [機能ボタン]

新しい列 ...	端子配置表に列を追加するための新しい列 ダイアログをオープンします。
列の削除	選択された列を端子配置表から削除します。 なお、削除可能な列は、新しい列 ダイアログでユーザが独自に追加した列に限られます。
デフォルト	列の並び順を初期状態に戻します。
閉じる	本ダイアログをクローズします。

## 新しい列 ダイアログ

端子配置表に列を追加します。

図 A.14 新しい列 ダイアログ



ここでは、次の項目について説明します。

- [オープン方法]
- [各エリアの説明]
- [機能ボタン]

### [オープン方法]

- 列の選択 ダイアログの [新しい列 ...] ボタンをクリック

### [各エリアの説明]

- (1) [名前]  
端子配置表に追加する列の見出しを入力します。  
なお、名前として入力可能な文字数は、256 文字までに限られます。
- (2) [型]  
端子配置表に追加する列の入力フォームを選択します。

文字列	文字列のみ入力可能な列となります。
チェック・ボックス	チェック・ボックスの設けられた列となります。
整数	整数のみ入力可能な列となります。
実数	実数のみ入力可能な列となります。
日付	年月日形式の日付のみ入力可能な列となります。

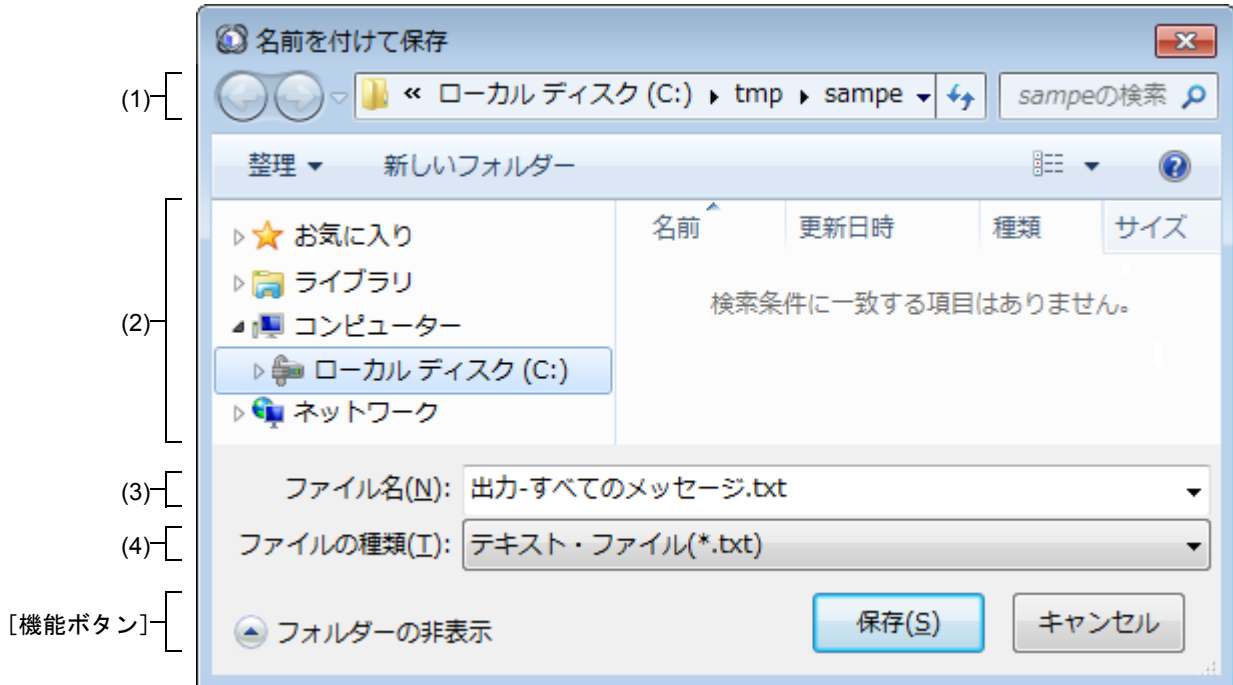
### [機能ボタン]

OK	[名前] で指定された見出しを有する列を端子配置表の右端に追加します。
キャンセル	本ダイアログをクローズします。

## 名前を付けて保存 ダイアログ

ファイルに名前を付けて保存します。

図 A.15 名前を付けて保存 ダイアログ



ここでは、次の項目について説明します。

- [オープン方法]
- [各エリアの説明]
- [機能ボタン]

### [オープン方法]

- [ファイル] メニュー → [出力 - タブ名 を保存] を選択
- [ファイル] メニュー → [名前を付けて 出力 - タブ名 を保存 ...] を選択

### [各エリアの説明]

- (1) 保存する場所エリア  
ファイルの保存先（フォルダ名）を選択します。
- (2) ファイルの一覧エリア  
保存する場所エリア、および [ファイルの種類] で選択された条件に合致するファイルの一覧を表示します。
- (3) [ファイル名]  
ファイルの名前（ファイル名）を指定します。
- (4) [ファイルの種類]  
ファイルの種類（ファイル・タイプ）を選択します。

## [機能ボタン]

ボタン	機能
保存	保存する場所エリアで指定されたフォルダに [ファイル名], および [ファイルの種類] で指定された名前のファイルを出力します。
キャンセル	本ダイアログをクローズします。

## 改訂記録

Rev.	発行日	改定内容	
		ページ	ポイント
1.00	2014.08.01	-	初版発行



---

CS+ V3.00.00 統合開発環境 ユーザーズマニュアル  
RL78 端子配置編

発行年月日            2014年 8月 1日   Rev.1.00

発行                    ルネサス エレクトロニクス株式会社  
〒211-8668 神奈川県川崎市中原区下沼部 1753

---



ルネサス エレクトロニクス株式会社

■営業お問合せ窓口

<http://www.renesas.com>

※営業お問合せ窓口の住所は変更になることがあります。最新情報につきましては、弊社ホームページをご覧ください。

ルネサス エレクトロニクス株式会社 〒100-0004 千代田区大手町2-6-2 (日本ビル)

■技術的なお問合せおよび資料のご請求は下記へどうぞ。

総合お問合せ窓口 : <http://japan.renesas.com/contact/>

CS+ V3.00.00